

## 第4回 びんご多文化共生連続ワークショップ (全4回)

### ZOOM meeting

日時：2021年2月7日(日)10:00~12:00

定員：100人 参加費：無料(事前申込が必要です。)

申込締切：2月3日(水)

#### コロナとの共生と多文化共生： 持続可能な地域社会への

#### 外国人の貢献を考える

コロナとの共生が余儀なくされる時代になり、日本人同様外国人も多くの影響を受け、また変化を迫られています。外国人受入れ・支援の先進地である東海地域で、高齢者、女性、外国人の雇用を積極的に行ってきた企業の経営者と、東海地域における多文化共生分野の中間支援NPOの代表のお話を元に、コロナとの共生時代の多文化共生の在り方を考えてみませんか。



演題：

地域に外国人を市民として受け入れるには  
～企業経営者の視点から～

講師：今村 順 (いまむら すなお) さん  
日高工業株式会社社長



演題：

コロナ禍の影響から考える多文化共生  
～NPO 経営者の視点から～

講師：土井 佳彦 (どい よしひこ) さん  
多文化共生リソースセンター東海代表理事

愛知県生まれ。38才から25年間日高工業株式会社社長を務め、現在は会長。業界団体である中部金属熱処理協同組合の理事長を務めていた2009年に熱処理技術者のための専門教育「チャレンジャー講座」を開設。名古屋大学、愛知県産業技術研究所の協力を得て毎年20名の技術者の育成を行っており、受講生は東海地区を中心に関西・中国地方にも広がっている。趣味はコーラスで、学生時代から参加している男声合唱団では自ら指揮者も務める。

広島県生まれ。大学卒業後、留学生や研修生等への日本語教育に従事する傍ら南山大学大学院で修士号取得。2008年秋のリーマンショックを契機に多文化共生社会づくりに注力し始める。2008年10月「多文化共生リソースセンター東海」の設立に参画し、翌年10月のNPO法人化に伴い代表理事に就任。コロナ禍の中様々な分野の団体とネットワークを形成し、“誰一人取り残さない社会”づくりに奔走中。

■申込方法：右のQRコードを読み取ると、申込みのページが表示されます。  
以下のURLからでも、申込みのページにつながります。

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd\\_pMBmZzGM64aFDT1hKhvZ6CGnNB5aKSnNndec6eNnja89Xg/viewform](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd_pMBmZzGM64aFDT1hKhvZ6CGnNB5aKSnNndec6eNnja89Xg/viewform)

■参加条件：ご自身でZOOMでの参加環境を整えることができる方。  
※あらかじめZOOMアプリをインストールしていただく必要があります(インストールは無料)。参加に係わる通信費については、ご自身の負担になります。



共 催：びんご多文化共生研究会  
福山市立大学教育研究交流センター  
後 援：中国新聞備後本社、エフエムふくやま





## 【ZOOM について】

ZOOM をよく知らない方や、使ったことがない方もいると思います。

「ZOOM」とはパソコンのHP、もしくはスマホアプリから参加する無料のテレビ電話です。

使い方は、主催者から開催前日までに URL を送らせていただきますので、「ZOOM」というアプリをインストールしているパソコンやスマホを使って参加します。

参加方法は、送られた参加のための URL をクリックするだけです。

「ZOOM」アプリをインストールする方法について、PC、iPhone、Android 別に分けて紹介しているページ(一例)はこちら↓↓↓です。インストールするときに、特に入力する情報はありません。

<https://zoom.nissho-ele.co.jp/blog/manual/zoom-install.html>

こちら↓↓↓は、HP 上で公開されている参加方法の動画の一例です。

●参考 HP → <https://zoomy.info/manuals/sanka/>

はじめて ZOOM を使う方は、参考になさってください。

上記以外にも「ZOOM」で検索すると、使い方を紹介しているページがたくさんあります。

また、既に使っている方も、バージョンアップできているかどうか、確認することをお勧めします。

テレビ会議システムを利用しての市民参加型ワークショップは、

コロナ禍で実施するための試みです。

不手際などあるかもしれませんが、どうぞよろしくお願いいたします。

多くの方のご参加をお待ちしております。